

学校教育の推進

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第5回の今日は、「学校教育の推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まず、三島市の学校教育についてのこれまでの取り組みや、今年度、新たに実施していく取り組みについて教えていただけますか。

市長： 平成30年1月に、学校を支えてくださっている皆様を中心にご参加いただきまして「三島の未来会議」という情報共有の会議を開催いたしました。この会議におきまして、三島市の教育についてご説明させていただきましたが、このように多くの市民の皆様と「三島の教育」について語り合う会を開催したのは今回が初めての試みでした。本日は、その時にお話したことを中心にお伝えしていきたいと思っております。

アナ： 三島市の教育の未来について、地域の皆様と情報を共有し、意見交換できるこの「未来会議」の開催は、大変素晴らしい試みですね。それでは、その時のお話を中心に伺ってまいりたいと思っております。はじめに、三島市内の学校の様子から教えてください。

市長： 皆さんもご存じの通り、三島市内には、小学校が14校、中学校が7校ございます。平成29年度末に各学校の子どもたち、保護者を対象に「学校評価アンケート」を行いました。その結果によりますと、ほとんどの子どもが「学校に行くのが楽しい。」と答えています。また、「子どもが学校生活を楽しく送っている。」と、ほとんどの保護者が回答しています。そして、三島の子ども、学力学習状況調査の結果では、全国や県と比べても高い傾向が続いておりまして、電子黒板やデジタル教科書の導入など、「三島独自の夢のある教育」の成果の表れであると考えています。

アナ： なるほど。子どもや保護者の方々が、学校生活を楽しく過ごせていると感じられるということは、三島の学校は良い環境づくりができていているということですね。お聞きしたいのですが、先ほど市長からお話いただいた「三島独自の夢のある教育」とは、どのようなものでしょうか。

市長： 三島市の教育のスローガンは、「豊かで、行き届いた、夢のある教育を実現するまち三島」です。これまでも、三島独自の質の高い体験活動を子供たちのために実施してまいりました。例えば、アーティストユニットとして全国的に活躍されている「うるまですび」さんを学校にお招きしての「らくがきワークショップ」や、中学2年生全員で芸術作品を鑑賞する「芸術鑑賞教室」、また、元オリンピック選手などのトップアスリートを学校にお招きして、「夢を持つことの素晴らし

さ」や「それに向かって努力することの大切さ」などを学ぶ「心のプロジェクト夢先生」なども実施しております。

アナ： 子どもたちにとってこのような体験活動は、様々な専門家の方々と出会い、一流に触れることのできる貴重な機会となりますね。それでは、これから新たに取り組む活動がありましたら教えてください。

市長： 小学校では2020年度、中学校では2021年度から新学習指導要領が実施されます。新たな学習指導要領の重要なキーワードとして、「社会に開かれた教育課程」という言葉がありまして、これは、教育活動は、学校の中だけで行うのではなく、地域の皆様の力をお借りして、社会教育や家庭教育と連携して行っていくという意味だと捉えています。そのため、三島市全小中学校に設置されている学校支援地域本部の活動や、地域の方々からの支援は大変重要と考えておりまして、登下校指導、読み聞かせ、花壇作り、学習支援など様々な活動をしていただいております。このような活動は、これからさらに学校にとって貴重なものになっていくと考えております。

アナ： 社会に開かれた教育課程を実施していくことで、三島の未来を担う子どもたちを、三島市全体で育てていきたいですね。

では、次期学習指導要領実施に向けての取り組みについて教えてください。

市長： 次期学習指導要領では、外国語科やプログラミング教育が実施されます。これらを見据えて、三島市ではこれまで「子ども英語講座」を開催し、昨年10月からは公立中学校3年生を対象に英語検定3級の受験費用の補助を実施しております。今年度はさらに、三島市教育研究の指定校を中心にプログラミング教育にも取り組み、また、英検3級以上の受験費用の補助も継続して実施することとしています。

アナ： 次期学習指導要領実施に向けての新たな取り組みに注目していきたいと思います。英検を受験する生徒が増えそうですね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。